

KPIモニタリングおよび データ分析環境を Tableauへ移行

4か月の移行期間ですべての帳票を利用可能に

632人

過去90日以内にログインした
人数（関連企業含む）

3000 views

既存の帳票を20人がかわり
4か月で移行

スマートニュース株式会社

<https://www.smartnews.com/>



業種：IT

従業員数：600名以上（連結：2022/6）

所在地：東京都渋谷区

事業内容：スマートニュース株式会社は、「世界中の良質な情報を必要な人に送り届ける」をミッションに掲げ、2012年6月15日に設立されました。日本と米国でニュースアプリ「SmartNews（スマートニュース）」を運用しています。世界中の膨大な情報を日夜解析し続けるアルゴリズムと、スマートデバイスに最適化された快適なインターフェースを通じて、世界中から集めた良質な情報を一人でも多くの人々に届けていきたいと考えています。

導入前の課題

既存BI製品のサービス終了

全社員が使い慣れていたツールがサービスを終了することになってしまった。それに伴い、長期にわたって利用し続けられる優れたツールを求めている。

解決策

Tableauへの移行

複数のツールを検討した結果、Tableauなら既存の帳票をすべて同様に活用できることを確認。2か月の準備期間および4か月の移行期間を経て稼働させた。

導入後の効果

以前と同様のパフォーマンスを発揮

すでに前職などでTableauを利用していたユーザーが多いこと、およびSQL知識のある社員が多いこともあり、以前に使っていた全員が以前と同様にシステムを活用している。

選定理由

安心感

ツールが優れていてもサービス終了になってしまうことはある。Tableauは長くサービスを続けてきた企業で、企業としての安定感は高く安心して採用することができた。

導入時期：2021年9月

導入製品：Tableau Online、Tableau Data Management

ライセンス数：Creator:270 Viewer:980 + Data Management

主な利用環境：Tableau Cloud上でのKPIモニタリングとデータ分析

導入に要した期間：合計6か月



お客様プロフィール

お名前：Kuan Li 様

役職：Business Intelligence Analyst

部門名：Product Division, Data Science Group

主な担当業務：

社内向けビジネスインテリジェンス環境の整備。日本および米国の全社員が利用するプラットフォームを運用・管理している

導入の背景

永続的なサービスと長期的な関係を

スマートニュース株式会社（以下、SmartNews）は、3000以上のメディアパートナーと連携し、多様なニュースを配信するスマートフォンアプリ「SmartNews」を運営する企業です。2014年に米国へ進出し、米国ではユーザー1人当たりの月間平均滞在時間が最も多いニュースアプリへと成長しました（2021年7月時点）。将来は世界中の地域・言語圏でのサービス展開を見据えています。

SmartNewsは無料で利用できるアプリで、その運営は広告モデルになります。魅力的なニュースを配信してくれる媒体と契約し、ユーザーの使い勝手をより良くする一方、広告配信を最適化することにも力を注ぎます。それらのバランスを取るために、すべてデジタルで記録されているログなどのデータを可視化し、

分析することは不可欠です。

KPIは、MAU/WAU/DAU（月間／週間／1日当たりのアクティブユーザー）などアプリユーザーのデータや、記事のインプレッション数、クリック数、さらには広告の配信数、閲覧数、クリック数など、さまざまなポイントに設定されています。用途はさまざまで、社内のほぼすべての部署がKPIモニタリングとデータ分析を必要としています。

SmartNewsには、あらゆる面においてダッシュボードを活用する文化が根付いています。たとえば、アプリ改善の際のA/Bテストにおいても、そのためのダッシュボードを構築し、広告収益を最適化するモデルやユーザービリティの高いデザインなどを可視化。多角的に検討してより良い解を得ようとしています。

Q1. Tableau で感動したことは？

A1. ユーザーの活用が加速

「本格的にTableauを使い始めてからまだ8か月ですが、すでにストレージの限界に達するほど、みなさん活用してくれています」

Q2. Tableau 導入後の変化は？

A2. 素早く扱い慣れられる

「前職などでTableauを使っていた社員が一定数居たことと、SQLの知識のある社員も多いため、予想していたより馴染んでくれるのは早かったです」

Tableau 導入・運用環境

データインフォームドな文化をより浸透させたい

現在、SmartNewsは全世界のほぼすべての社員がTableau OnlineとTableau Data Managementを活用し、自身の仕事にかかわりのあるデータを可視化・分析しています。創業当時からデータインフォームドな文化があり、Tableauの柔軟な分析環境を全社員に提供することで、この文化をより浸透させたい考えです。

SmartNewsが業務で利用するデータの大部分は、AWS S3上のHive data warehouseに蓄積し、Presto/Trino Hive connectorで正規化しています。Tableauは、このメインのデータウェアハウスに加え、他のデータソースとも連携し、必要なデータを自在に取り出し、ビジュアルなダッシュボードに仕上げてくれます。

Tableauの活用を促すために、「ダッシュボードの作り方」、「データベースとの接続方法」など約50のドキュメントを整備しました。FAQも充実させ、Slackの専用チャンネルも設けました。90日以内にログインした人数（関連企業含む）は632人。データサイエンティストやBIアナリストなど150人のヘビーユーザーには、データソースへの接続など高度な機能を利用できるTableau Creatorライセンスを提供しています。

Kuan Li氏は、「本格的にTableauを使い始めてからまだ8か月ですが、すでにストレージの限界に達するほど、みなさん活用してくれています」と話しています。

Tableau 選定の理由

永続的なサービスと長期的な関係を

Tableauを導入する前段階として、SmartNewsは、グローバル共通のBIプラットフォームを長く運用してきました。しかし、2021年にそのサービスが停止を発表。ビジネスになくてはならないツールであり、代替ソリューションの採用が不可避な事態になりました。

「もう同じ思いをするのは嫌でした」とLi氏は話します。「次に選ぶものは、サービス終了にならない安心できるツールでなくてはなりませんでした」。SmartNewsは3つのツールを比較・検討。2か月間のトライアルを経て、安心感に加えて機能の豊富さやルック&フィール、使い勝手などを総合的に判断し、Tableauの採用を決めました。

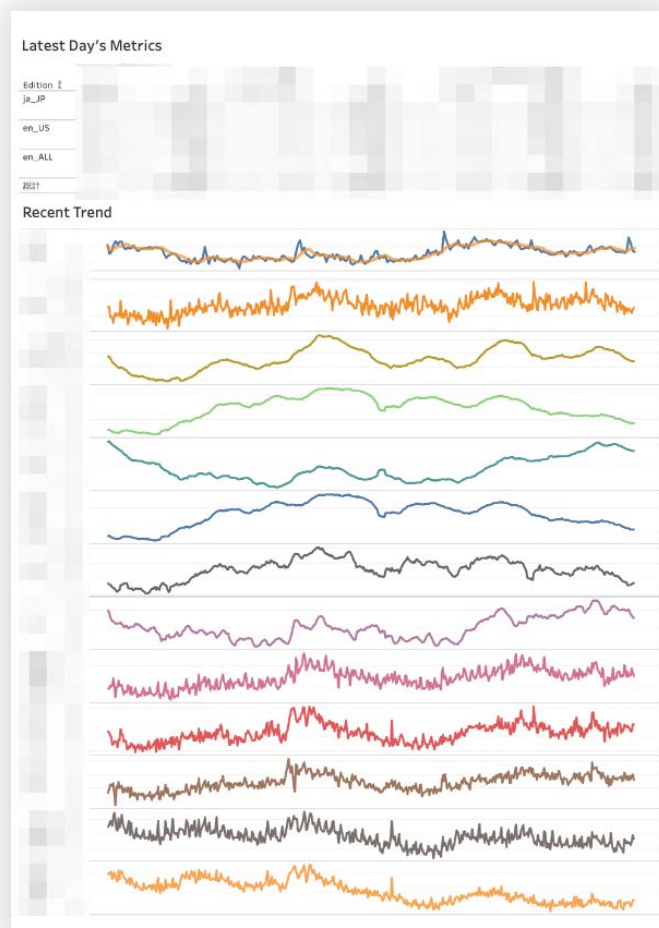
移行フェーズは約4か月。既存帳票には複雑なクエリーを発行しているものもあったため、調査にも時間をかけました。Li氏のチームから3人が専従し、移行を支援してくれる契約社員も動員するなど総勢20人がかかわり、以前のツールで使っていた3000帳票を移行するプロジェクトを完結させました。

Tableau 導入効果

データを洗練された状態で保持するように

以前に利用していた製品は、ロジックと画面が一体的でした。そのため、何かを表現したいときにそのバックグラウンドで複雑なロジックを常に動かしておく必要がありました。これに対して、Tableauはデータソースからシンプルにデータを吸い上げ、ビジュアライズすることに長けています。

「Tableauの基本的な思想はExcelに似ていると感じます」とLi氏は話します。もちろん複雑な分析もできるのですが、データソース側に気を配ることで、そのパフォーマンスは高まります。表現力はTableauの方が格段に高く、表現形態もさまざまなものがあらかじめ用意されているため、データを洗練された状態に保っておくことでユーザーは必要な情報を、以前よりビジュアルに、かつ理解しやすい表現で得ることができます。



この部分に役立つのが、「フロー」を使いこなすことです。極めて理解しやすく、データ準備を効率的に行えるようになることが好評です。活用を深める中で、具体的な課題が出てきたり、表現方法に迷ったりすると、ユーザーコミュニティの「Tableau Community」に質問を投げかけることで解決できることも多いといいます。

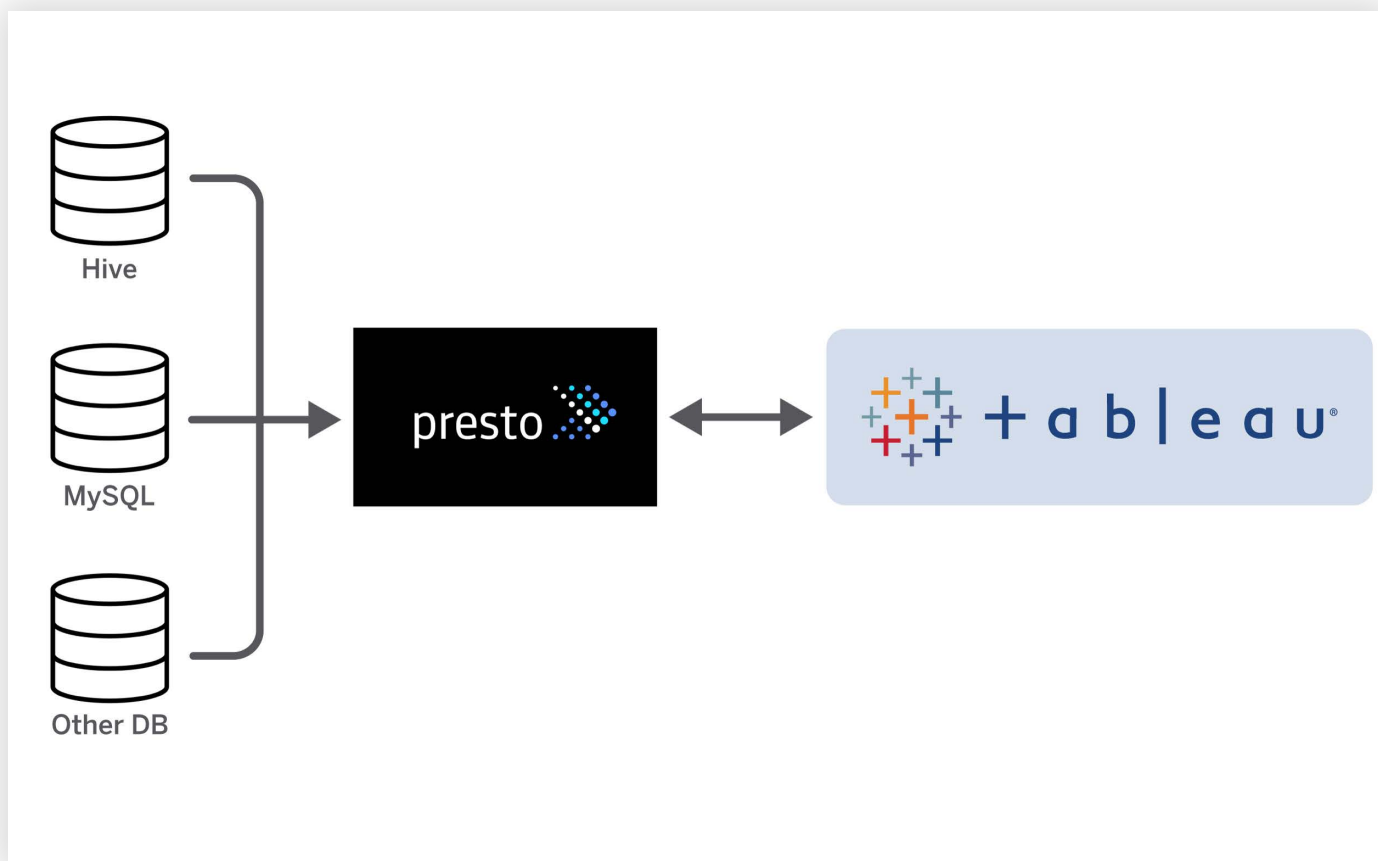
「広く使われているツールなので、Google 検索で解決方法が見つかることもあるようです。移行にあたっては、使い慣れるまで不平不満が出てくるもので、それは多少ありました。しかし、前職などで Tableau を使っていた社員が一定数居たことと、SQL の知識のある社員も多いため、予想していたより馴染んでくれるのは早かったです」(Li 氏)

今後の展開について

ストレージの問題を解決し、さらに活用を深める

SmartNews の喫緊の課題は、ストレージの問題を解決することです。これは、1週間に400のダッシュボードが生成された時期もあるなど、予想以上に活用スピードが速かったために起きた問題で、早急に解決する方向です。

ユーザーにさらに活用を深めてもらうことも大きなテーマになっています。Creator ライセンスを持つヘビーユーザーだけでなく、既存ダッシュボードを閲覧することだけができる Viewer ライセンスのユーザーにもより効率的に利用してもらうため、Tableau のカスタマーサクセスチームとの連携強化を図っていきます。



無料トライアル版をダウンロードして、ぜひ Tableau をお試しください。

<http://www.tableau.com/ja-jp/trial>

株式会社セールスフォース・ジャパン Tableau (Email: japan@tableau.com)